

大谷大学課外教育行事〈異文化との出会い〉

シ ヴ ァ ム

「シヴァム」インド舞踊と音楽

人々の幸福と社会の安寧を祈って捧げるインド舞踊と音楽のひとつ
シヴァム

*「シヴァム」とはサンスクリット語で、幸福・幸運・安寧・繁栄を意味します。

2011年 **11月12日(土)**

時間／**13:30～15:00** 開場13:00～

会場／**大谷大学講堂** 入場無料 一般来場歓迎

- お車でのご来学はご遠慮ください。
- 課外教育行事のため、入場者多数の場合、一般の方の入場を制限することがあります。



岩下 洋平

インド音楽の未知なる世界に惹かれ2003年から田中峰彦氏より手ほどきを受ける。翌年よりインドの聖地ベナレスにてドゥルワナートミシュラ氏、アマルナートミシュラ氏に師事。ドゥルワナートミシュラ氏の九州ツアーでの共演、その後関西を中心に活動を始める。京都在住。



中川 博志

1950年、山形県生まれ。インドのベナレス・ヒンドゥー大学音楽学部楽理科に留学。バーンスリーの演奏活動の他、聲明グループ<七聲会>の舞台公演プロデュースなども行っている。訳書に『インド音楽序説』(B.C.Deva)。



野中 ミキ

オディッシーダンススタジオ カマラ・カラ・ビータ代表。1990年にインドのトゥリベニ・カラ・サンガムに留学し、グル・ラマニ・ランジャン・ジェナに師事。国内外でオディッシーの指導や普及に努める。



藤澤 バヤン

京都在住のタブラ・打楽器奏者。2002年にディネーシュ・チャンドラ氏にタブラの手ほどきを受け、2005年に渡印。マタ・ブラサッド・ミシュラ氏の指導を受ける。現在は、マタ氏に師事しながら、演奏活動やコンサート企画などを行っている。



ダシュ・ショ・バ・ラニ

大谷大学講師 博士(文学)。専門分野はインド学、仏教学、貝葉写本研究、インドの古典芸能。インド東部オリッサ州の言語で書かれた「マハーバータ」の貝葉写本の校正テキスト作成を研究の主要課題としている。



大谷大学学生有志

インド舞踊を通じて異文化を学ぶ事を目的として、2008年より活動開始。在日インド人の祭り「ラタ・ジャートラー」(埼玉県)、第14回国際サンスクリット学会(京都大学)、京都や宇治の福祉施設等で公演。

【お問い合わせ】 **大谷大学／大谷大学短期大学部**

学生支援課 TEL.075-411-8119 〒603-8143 京都市北区小山上総町(京都市営地下鉄烏丸線「北大路」駅下車)

学園祭期間中実施 学園祭は11月11日(金)～13日(日)